

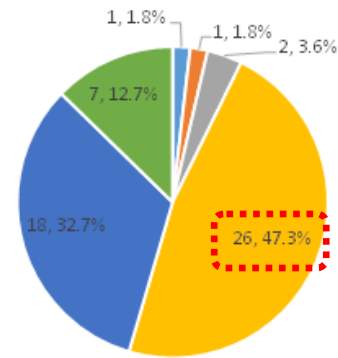
■ サクラルート「清洲総合福祉センター」及び「清洲庁舎」バス停の廃止（案）

1 趣旨

- 意識調査結果からみると、バスの最も多い利用目的は「買い物」である。
- 本庁方式移行や現状の利用実態等を踏まえて、更なる利用目的の強化を図るため、利用実績の少ないバス停の廃止を検討する。

【あしがるバスの利用目的（意識調査結果より）】

問6-4-1 あしがるバスの利用目的



- 1. 通勤
- 2. 通学
- 3. 通院
- 4. 買い物
- 5. 公共施設利用
- 6. その他

N=55

○ 回答者（55名）の内47%が、買い物をするためにバスを利用していると回答している。

○ また、バスの主な利用目的が買い物である回答者（26名）の内65%が、主な目的地を「ヨシヅヤ清洲店」と回答している。

【本庁方式への移行】

- 平成29年1月10日の市役所北館供用開始に伴い、庁舎機能を「本庁方式」へと移行する。これにより次の施設を廃止する。

施設名	本庁舎移行後の施設
西枇杷島庁舎（建設部）	庁舎機能は廃止となるが、西枇杷島会館等が併設されているため、建物は存続。
清洲庁舎（健康福祉部）	庁舎は平成29年度に取り壊し予定。同敷地内の清洲保健センター及び清須市商工会は存続。

2 ルート改正案

- (1) サクラルート（西行き・東行き）の新設ルート

① 西行き



- 凡例
- : 現行
  - : 案①（「清洲庁舎」、「清洲総合福祉センター」を廃止した場合）
  - : 案②（「清洲総合福祉センター」を廃止した場合）
  - : バス停

② 東行き



3 ダイヤ案

区分	内容
案① 現行（改正なし）	西行き：±0分、東行き：±0分
案② 廃止1か所（清洲総合福祉センター）	西行き：-2分、東行き：-2分 ※
案③ 廃止2か所（清洲総合福祉センター、清洲庁舎）	西行き：-4分、東行き：-4分 ※

※ 案②及び③について、国道302号線が恒常的に渋滞するため、渋滞による遅延を加味した運行時間としている。

4 停留所の廃止に伴う影響（平成28年7月～10月利用実績）

バス停	便名	乗車		降車	
		数（人）	シェア（%）	数（人）	シェア（%）
清洲庁舎	西行き	105	2.3	141	3.0
	東行き	84	1.9	82	1.8
清洲総合福祉センター	西行き	20	0.4	77	1.7
	東行き	64	1.4	41	0.9

※ なお、オレンジルート及びグリーンルートの両バス停については、一定の数・シェアがあるので存置する。

5 事前確認事項

関係者	支障の有無
公安委員会（西枇杷島警察）	道路交通法上支障なし
道路管理者（国道）（県道）（市道）	通行に支障なし

6 ルート・ダイヤ改正の方向性（案）

案③のとおり、本庁方式移行や現状の利用実態等を踏まえて、「清洲庁舎」及び「清洲総合福祉センター」を廃止する。